

11月は「本を読む」を目標に頑張りました

11月は、「本を読む」ことにチャレンジしました。11月に大活躍してくれたのが、図書委員会です。コロナウイルス感染症も収束を見せ安定してきたことから、体育館で一斉に集まり「読書祭り」を実施することにしました。図書委員会の子どもたちは、読書祭りに向け、パネルシアターやエプロンシアターを自分たちで選び、昼休みの練習を自分たちで積み重ねました。この「自分たちで」ということを今年度はとても大切にしています。令和5年度の山鹿小学校との統合の日を、子どもたちが自信を持って迎えらるるよう、自尊感情を育むと共に自主性を育てています。パネルシアター「北風と太陽」では、旅人・太陽・北風をうまくタイミングで動かしながらお話を進めてくれました。また、エプロンシアターの「だいこんさんと にんじんさんと ごぼうさん」では、お話の語りに合わせて上手ににんじんと、ごぼうと、だいこんを動かしながら、お話を進めてくれました。ほほえましいお話で、みんな笑顔になりました。たくさん練習したことがよく伝わる発表で、見ている側も大満足の読書祭りとなりました。頑張って読書祭りを成功させた図書委員会のみんなの成長を大変うれしく思いました。さて、その後は、夢ひこうせんの皆様の登場です。今年は、4人おいでいただきました。お話がよく分かるように鍬や重箱の実物を見せながらお話をさせていただきました。お話をみんな覚えていらっしゃるって（ここがすごいと思います。覚えて話すなんて、私にはできません・・・）読み聞かせではなく、語られるのです。子どもたちも私たちも思わずお話に引き込まれて、楽しいひとときを過ごすことができました。夢ひこうせんの皆様、本当にありがとうございました。

保護者の皆様も、これを機に、ご家庭で読み聞かせをされませんか？体の成長は目で見えますが、見えない心も同じく成長しています。日々の生活の中で心は成長していきますが、栄養を与えれば更にすくすくと心は成長します。その栄養が読書です。読み聞かせの時間は、子どもたちが幼い今だからこそ、一緒に味わえる幸せな時間です。子どもとともにお布団に入って、本を読みながら眠りにつくまでのあの幸せな時間を、どうぞ大切にされて下さい。



山鹿市親善球技大会が行われました「優勝」です

コロナウイルス感染症のリスクレベルも現在1レベルまで下がりました。昨年度までできなかった行事もたくさん実施でき、子どもたちの心も豊かに成長している毎日です。山鹿市親善球技大会（ハンドボール大会）も、今年は多くの方々のご協力で実施でき、なんとBパートで優勝しました。三岳・平小城連合小学校で参加した記念すべきうれしい優勝となりました。



学校応援団の皆様にもやっと来ていただく事ができました

三岳小学校には、学校応援団の先生4名「山口先生・池部先生・田中先生・迎田先生」がいらっしゃいます。子どもたちの学習支援に来ていただいています。しかし、昨年度は、コロナウイルス感染症蔓延のため、この活動を1度も実施することができませんでした。やっと、今年11月再開することができました。11月は、毎週木曜日3・4時間目に低・高学年に分かれて2時間も丸付けをしていただきました。12月には、3年生以上の学年で県学力調査が実施されます。先生方にサポートしていただいた成果が発揮できるよう今後も子どもたちを支えていきます。4人の先生方大変お世話になりました。



